

ひびきあい

シニアアンサンブルのための楽器知識

(16)ビオラ

- バイオリンよりもビオラが優れているのは薪にした時にビオラの方が長く燃える。
- バイオリンを盗まれないようにするにはビオラのケースに入れておく。
- ビオラと玉葱の違いはビオラを刻んでも涙を流す人はいない。
- ビオラが爆弾に似ているのは音を聞いた時にはすでに手遅れだからです。
- ビオラ弾きがかくれんぼしないのは居なくても誰も探しにこないからです。
その他たくさん。

随分とビオラを馬鹿にした話でビオラ弾きを読んだら怒りそうですが、これは全部ビオラ弾きが書いた世界中に流れているビオラジョーク。

「ビオラは中途半端な楽器」とかってはいわれています。バイオリンのようにプリマドンナの華やかさはなくチェロのような堂々とした英雄的な音もない。合奏で弾く音符もきざみ、後打ち、ロングトーンがほとんど。音響学的にいえばバイオリンより2:3の割合で大きくチェロよりは1:2の割合で小さくなければビオラの音は出ないのですが、それでは顎に乗せるには大きすぎ、床に置くには小さすぎて今の妥協した大きさになっています。

かつては下手なバイオリン弾きのなれの果て～みたいに言われたこともあり弦楽器の中ではとても地味な存在です。

ところが実際のビオラ弾きはこの楽器をとっても愛しています。どうしてどうして魅力がいっぱいの楽器です。



まず音色の美しさ。古来からいぶし銀の魅力とよく言われてきましたが、中音域から低音域の音の深さはとても美しくチェロやバイオリンでは出せないし、周波数的に人間の声にとっても近いという科学的データもあるそうです。バイオリンとチェロの音色に良く溶け合いハーモニーをしっかりと感じ取れる快感もある。

歴史上の名作曲家もビオラを愛しました。バッハやモーツァルト、シューベルトは家庭内合奏の時はビオラを率先して弾き、ベートーベンもビオラを弾いたことがあるそうです。ドボルザークは作曲家になる前はプロのビオリストでした。ブラームスのビオラ好きは有名な話。

作曲家ではありませんが今上天皇はビオラの名手です。

上記のビオラジョークはそんなビオラを愛して止まないビオラ弾きが仲間内で楽しんで作り上げた産物です。余り素直ではありませんが。

演奏法はバイオリンと同じ。楽器の大きさを除けば区別が付きません。ですからバイオリンの曲は音を五度下げれば何でも弾けます。チェロとは調弦が同じ。指使いを変えればオクターブ上でチェロの曲も全部弾けます。したがってビオラ用の独奏曲は多くありませんが寂しくはありません。地味で弾き手が少ないのでどの楽団でも需要があります。レイトスターターのシニアの方にはぴったりだと思います。その楽団で「陛下」と呼ばれるかもしれませんよ。

ただ問題一つあります。それは音符記号が八音記号だと言うことです。Cの字の音譜で五線の中央が一点ハです。ト音記号やヘ音記号に慣れている人々には読みにくいかもしれませんが、ト音記号やヘ音記号が少し練習すれば読めるように八音記号も決して難しくはありません。

最後に2006年放送の「情熱大陸」で紹介された指揮者サイモン・ラトル氏の言葉「ビオラは影の立役者。主旋律を奏でることは少ないがビオラ抜きにオーケストラは成り立たない。ワインに例えればバイオリンはラベル。チェロがボトル。そしてビオラが肝心の中身だ」

(葛飾・江東、指揮指導、全シ連顧問の五十嵐淳先生 記)